



森林の楽しさを再発見 「森林の市」が開催

「みどりの感謝祭」の併催行事として
同じ会場内で「森林の市」が開催。
木工品や山菜などを通じて森林の楽しさが感じられる会場は
子どもから大人まで、たくさんの人々で賑わいました。



右上：たくさんの人が舌鼓を打った焼き立てのエゴマ餅
 右下：スギ製のサイコロで遊ぶ赤ちゃんは楽しそうな笑顔を浮かべていました
 左上：羊やうさぎなどと遊べる動物とのふれあいコーナーには子どもたちがいっぱい
 左下：屋久杉で作った家をはじめ、木材で作った製品が展示されていました

木々の温もりを感じられる さまざまなお店が展開

「みどりの感謝祭」の併催行事として、同じ日比谷公園内のにれのき広場で、木工品や山菜の即売などを行う「森林の市」が開かれました。全国の自治体や森林ボランティア団体、企業などが協力・出展する会場は、イベントを楽しもうと多くの方々で賑わいました。

今年のテーマ「森林の息吹にふれよう」に沿って、特設ステージでは和太鼓やアルプホルン、軽音楽などのコンサート、パントマイムやトークショーなどが開かれ、イベントを盛り上げていました。

そんな中、もつとも賑わっていたのが、きのこや山菜など山の幸を販売するお店や、エゴマを練りこんだ餅をはじめ郷土料理を提供するお店です。どの店舗も大盛況で、訪れた方々は一様に供される食べ物に舌鼓を打っていました。

そのほかにも、おもちゃや民芸品などの木工品を扱うお店では、夢中になって遊ぶ子どもたちや、興味深そうに品物を手にする大人たちの姿が多く見られました。丸太切りやツリークライミング（木登り）、クラフト作りなど、木を使ったさまざまな遊びが体験できるコーナーもあり、会場のおちらこちらには、子どもから大人まで楽しめるブースが数多く用意されていました。